

FMPress CloudAuthについて

株式会社エミック 2022年7月27日

概要

- FMPress FormsおよびFMPress ProをClaris FileMaker Cloudに接続できるようにするWordPressプラグインです

動作環境

- PHPバージョン7.4.0以降とWordPressが稼働するWebサーバー
- バージョン1.2.0以降のFMPress FormsもしくはFMPress Pro
- バージョン5.5以降のContact Form 7（FMPress Forms使用時）

価格とライセンス

- 本プラグインの価格は無料です
- 本プラグインのライセンスはGPLv3です

本プラグインで可能なこと

本プラグインが有効化されていると、WordPressの管理画面でFMPressデータソースを編集する際に、ドライバーとしてFileMaker ServerだけでなくFileMaker Cloudも指定できるようになります。

FMPress Formsのドキュメント

FMPress Formsの基本的な使い方については、GitHubのWikiページを参照してください。

- [FMPress Formsユーザーマニュアル](#)

サポートフォーラム

弊社のWebサイトでFMPress Formsについて質問することができる[フォーラム](#)を用意しています。

このフォーラムのご利用には、弊社のeラーニングサービスである[エミックラーニング](#)へのご登録が必要です。FMPress Formsについて学習できるコンテンツも用意していますので、ぜひエミックラーニングにご登録ください（登録は無料です）。

もしもセキュリティ上の問題点が見つかった場合には、弊社[お問い合わせフォーム](#)よりご連絡ください。

プラグインのインストールと有効化

インストールとアンインストール

WordPressの管理画面でプラグインの［新規追加］および［プラグインのアップロード］でZIP形式のプラグインファイルをアップロードしてインストールまたは更新できます。WordPressの管理画面で無効化およ

びアンインストール（削除）も可能です。

別の方法としては、SFTPクライアントなどを使用してプラグインディレクトリへ本プラグインをアップロードしてインストール、もしくはプラグインディレクトリから本プラグインをディレクトリごと削除してアンインストールする方法も可能です。

有効化

下記の手順でプラグインを有効化できます。FMPress CloudAuthを有効化するには、バージョン1.2.0以降のFMPress Forms（もしくはFMPress Pro）を事前に有効化しておく必要があります。

1. WordPressの管理画面を開きます
2. 管理画面の左ペインにある **プラグイン** からプラグインページを開き、プラグインを有効化します

データソースの追加

管理画面の左ペインにある **FMPress** を選択するとデータソースの定義の一覧が表示されます。

画面上部の **FMPress** の横にある **新規追加** ボタンを押すとデータソースの定義フォームが表示されますので、下記を入力後 **公開** ボタンを押します。

- タイトル: データソースの名称（データベース名など、識別しやすいもの）
- 抜粋: データソースの説明（オプション）
- ドライバー: **FileMaker Cloud**
- サーバー: FileMaker Cloudのホスト名（**.account.filemaker-cloud.com**を含みます）
- データベース: データベース名（拡張子は不要）
- Claris ID 更新トークン: **fmrest** 拡張アクセス権が有効になっているClaris ID アカウントで取得した更新トークン

接続テスト

上記を入力後に表示される **接続テスト** ボタンを押すとデータソースの接続テストを実行することができます。

正常な接続結果

接続テストの結果が、**HTTP: OK (200) FileMaker Cloud: No error (0)**と表示されると正常に接続ができています。

よくあるエラー

よくあるエラーとその対処方法です。

- **cURL error 6: Could not resolve host: {hostname}**
 - サーバー（ホスト名）が正しいかを確認します
- **HTTP: Service Unavailable (503)**
 - FileMaker Cloud Admin Consoleの **接続** > **FileMaker Data API** でFileMaker Data APIが有効になっているかを確認します
- **HTTP: Unauthorized (401) FileMaker Cloud: Insufficient privileges (9)**

- Claris ID 更新トークンを取得したClaris ID アカウントでfmrest拡張アクセス権が有効になっているかを確認します
- HTTP: Unauthorized (401) FileMaker Cloud: Authorization header missing 'Fmid' or 'Bearer' (10)
 - Claris ID 更新トークンが正しいか、もしくは有効期限が切れていないかを確認します
 - OPcacheが有効な環境である場合にはキャッシュをクリアしてからClaris ID 更新トークンをセットし直します
- HTTP: Internal Server Error (500) FileMaker Cloud: Unable to open file (802)
 - データベース名が正しいか、もしくはデータベースファイルがサーバーにアップロードされているかを確認します

FAQ

Claris ID 更新トークンを取得するためのツールは用意されていますか？

- Claris ID 更新トークンを取得するための専用ツールとしてfmctokenを開発・配布しています。WebブラウザでClaris IDにサインインした環境においてfmctokenをご利用ください。fmctokenを実行して（使用例：`fmctoken get refreshtoken`）、Claris ID ユーザ名とパスワードをご入力いただくと、更新トークンを取得できます。なお、多要素認証が設定されている場合には、6桁の認証コードの入力も必要になります。

Claris ID 更新トークンの有効期間は？

- Claris Customer Console ヘルプによれば、Claris ID 更新トークンは1年間有効です。更新トークンを取得してから1年経過しないうちに、Claris ID 更新トークンを再度取得して、FMPressのデータソース編集画面でClaris ID 更新トークンをセットし直す必要がありますのでご注意ください。

以上